

平成29年度 第1回生涯学習センター運営審議会 会議録

- 1 開催日時 平成29年7月19日(水) 9時30分～11時15分
- 2 開催場所 宇都宮市役所14階 14A会議室
- 3 出席委員 16名
丸山委員長, 竹内副委員長, 日渡委員, 金田委員, 今井委員, 石井委員, 池田文男委員, 半田委員, 坂本委員, 田村委員, 稲葉委員, 小林委員, 生田委員, 樽井委員, 西田委員, 古谷野委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 内 容
 - ・ 生涯学習センター運営審議会について
 - ・ 正副委員長選出
 - ・ 議事
 - (1) 各種協議会への委員の推薦等について
 - (2) 平成28年度生涯学習センター事業運営の評価について
 - ・ 宇都宮市における地域教育について
 - ・ 生涯学習センターの役割について
 - (3) (仮称)第3次宇都宮市地域教育推進計画の骨子(案)について
 - ・ 報告
 - (1) 平成29年度生涯学習センター事業運営の考え方について

7 発言の要旨

事務局	【生涯学習センター運営審議会について説明】
事務局	【正副委員長選出について説明後, 金田委員に仮議長を依頼】
金田委員	委員長が決まるまでの間, 仮議長を務めさせていただきます。 「委員長及び副委員長の選出について」事務局より説明をお願いします。
事務局	【資料について説明】
金田委員	事務局より説明がありましたが, ご意見がございましたらお願いします。

金田委員	特になければ事務局よりご提案いただこうと思いますがよろしいでしょうか。
全員	異議なし。
金田委員	それでは、事務局より提案してください。
事務局	【事務局より、丸山委員を委員長、竹内委員を副委員長に提案】
金田委員	ただ今、事務局より提案がありましたが、これについてご異議ございませんでしょうか。
全員	異議なし。
金田委員	それでは丸山委員を委員長に、竹内委員を副委員長に決定いたします。それでは、これからの議長につきましては、丸山委員長にお願いします。委員の皆様、ご協力ありがとうございました。
丸山委員長	委員長にご指名いただきました丸山でございます。 私は50年以上宇都宮に住んでいまして、この庁舎が建つ前の体育館や今の城址公園の場所にあったスケート場なども覚えております。宇都宮市のために、微力ではありますが何かできればと考えておりますので、よろしく願いいたします。
竹内副委員長	副委員長にご指名いただきました竹内と申します。 この審議会の委員は3期目になります。生涯学習事業は集まる、学ぶ、つなぐとよく言いますが、今年4月に自治会長となり、改めて地域とのつながりの大切さ難しさを実感しております。皆様とともに地域教育について勉強し、この場が忌憚のない意見交換の場として、実りある会になれば幸いです。どうぞよろしく願いいたします。
丸山委員長	それでは、議事を進めて参りたいと存じますが、円滑な議事進行につきまして、委員のみなさまのご協力をお願いいたします。 まず、議事（1）の「各種協議会への委員の推薦等について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料について説明】
丸山委員長	ただ今、事務局から説明がありましてとおり、この会議の委員の中から「栃木県公民館連絡協議会」の役員を選ぶということです。役員の選出につきまして何かご意見がございましたらお願いいたします。

丸山委員長	特にないようであれば、事務局よりご提案いただこうと思いますが、皆様いかがでしょうか。
全員	異議なし。
丸山委員長	それでは事務局案をお願いします。
事務局	【事務局より評議員に竹内委員，部会委員に古谷野委員・篠崎委員を提案】
丸山委員長	事務局案としましては、評議員に竹内委員，部会委員に古谷野委員と篠崎委員という案ですが、皆様いかがでしょうか。
全員	異議なし。
丸山委員長	<p>ありがとうございました。それでは事務局案に従い、決定したいと思います。本日、篠崎委員は欠席ですので、事務局より連絡をお願いいたします。選出されました委員の方々、よろしく願いいたします。</p> <p>次に、議事（２）の「平成２８年度生涯学習センター事業運営の評価について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	【資料について説明】
丸山委員長	ただ今の説明につきまして、何かご意見・ご質問がありましたらお願いします。
生田委員	内容ではなく資料のことについてお伺いしたいのですが、資料７に添付されている提言書と先ほどご説明された資料５の事業運営の評価との関連性はどのようになっているのでしょうか。
丸山委員長	事務局よりお願いいたします。
事務局	提言書につきましては、平成２６年１０月の社会教育委員の会議において、社会の要請と求められる学習について提言されたものであり、この提言書を踏まえて各生涯学習センターで事業運営が行われております。
今井委員	地域のまちづくりの活動は、市役所からもいろんな方が地域に来てくれて取り組んでいるので全体の動きがわかるのですが、この生涯学習については、市民センターの中でどのような会があって、例えば地域の方がどう関わって、何をやっているのかということが見えない状況です。参考２の３ページに生涯学習センターの組織図が出ていますが、生涯学習課の方と我々地域住民が市民センターで話したこともないし、面談したこともないので、何をやっているのか、地域の人達の話聞いて

やっているのか、あるいは市の方針で動いているのかも見えない状況です。今日、色々な活動をしているというのを聞いて、ああそういうものがあるのかなというのが実感したところです。こういった取組みをもう少し地域の人々が見えるような展開をできないものかなと思うのですが、いかがでしょうか。

事務局

生涯学習課と各生涯学習センターとの間では、毎月会議を開催いたしまして、意見交換などを行っているところですが、今井委員のご指摘のとおり、生涯学習課が各地域の生涯学習センターに出向いての対応というのはなかなか行われていないところがございますので、センターからの要望に対し、生涯学習課が直接出向くなど丁寧に応えていければと考えております。

今井委員

地域のまちづくり活動は、ピラミッド型に体制ができていますので、色々活動が見えるのですが、生涯学習は、何かの講座あるよと回覧が回ってくるくらいで、どこが何を企画し、どういう意図でやっているのか見えません。生涯学習はまちづくり活動と別の分野だからなんでしょうけど、市民センターのまちづくりの会話の中でもあまり生涯学習の話は出てこないのが、非常に見えづらく感じます。

事務局

情報提供が少ないのかもしれないので、課題として検討させていただきます。

丸山委員長

ただいまの今井委員の意見は、この会議の目的でもあると思います。こちらの資料には参加者の延べ人数などの数値的なデータしか載っていませんが、講座の参加者にアンケートを取ったり、窓口で利用者、利用団体から地域の方の情報を吸い上げるなどして、講座の運営などに反映させているようですけれども、なかなかそれが地域の方には伝わりにくく、何をやっているのだろうという意見が、去年や一昨年の会議でもありました。疑問があればどんどん積極的に、生涯学習センターでも、この場でも言っていただければ、それが反映されていくと思います。

他に何かございますか。

坂本委員

豊郷地区の坂本です。各地区でこの事業を推進するには、センターを中心として各地区の連合自治会やまちづくり組織が一緒になって進めていかなくてはならないのだと思います。事業は年代別に展開していると思いますが、特に子ども達について、子どもの貧困問題をはじめ、いろいろな問題が起きておりますので、教育委員会としての考え方をまとめ、地区におろし、地区でどのように動いていくかを具体的に出していかないと事業が進んでいかないと。生涯学習センター事業は、大変有意義なものと感じておりますが、例年同じような形で、インパクトの強い内容が出てきていないとも思っており、今年、新聞などでも大きく取り上げられている子どもの貧困問題など、もっと出していければと思います。また、事業の内容等については各地区で努力していくことだと思いますが、豊郷地区では、地区内にある帝京大が地区にとっても協力的で、大変恵まれた地区となっております、全市的にも各施設等と協力し合って進めていくべきだろうと思っております。

丸山委員長 貴重なお意見ありがとうございました。他に何かございますでしょうか。

小林委員 人材バンクとVスタッフの件ですが、人材の名簿は生涯学習センターなどに行けば閲覧などできるのででしょうか。

丸山委員長 事務局いかがでしょうか。

事務局 人材バンクに関しましては、宇都宮市生涯学習情報提供システム、通称マナビスの中で、公開している講師情報がございます。そちらは、どなたでもインターネットで閲覧することができます。また、講座企画・運営ボランティアスタッフ、通称Vスタッフに関しましては、中央生涯学習センター4Fに事務室を構える人材かがやきセンターにおいて登録などは受けております。Vスタッフの名簿に関しましても、一般に公開を許可している方については、マナビスのホームページ上で見ていただくことができます。

小林委員 Vスタッフの名簿については、インターネットではなく、紙ベースで冊子などはないのでしょうか。講演会での講演者を選ぶのに苦労しているものですから、そういうものがあれば助かるのですが。

事務局 冊子などで公開しているというものはありませんが、その際は、人材かがやきセンターにお問い合わせいただければ、ご紹介ご案内させていただきますので、ぜひご活用いただければと思います。

田村委員 姿川地区の田村と申します。まちづくり活動と生涯学習の関係というのは極めて密接であると考えておりました、私共の方では、まちづくり活動の中に人づくり活動としての生涯学習の項目を事業計画の中に盛り込んでおります。その中には、地区市民センターが主催する生涯学習も中に入れ、公表しており、その事業の進捗状況等についても役員会の中で話し合う形を今とっております。ただ、教育委員会の方でよく見ていただきたいと思っておりますのは、センター長の考え方によって、まちづくり組織などとの関係が密接であるか疎遠なのか左右されるという現実がございます。

事業運営の評価につきましては、企画セクションとすると学習機会を提供できているかという視点からの評価になりがちですが、もっと多面的に評価をされてはいかがかと思っております。目的としては人づくり、地域づくりを推進するという大きな目標に向かっているわけですから、例えば受講生へのアンケート調査や、まちづくり組織のスタッフの評価など、多面的な評価をして、事業運営がどうなのか判断された方がよろしいかと思っております。よろしく願いいたします。

丸山委員長	<p>ありがとうございます。事務局より、その評価についてどのようなお考えかご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事業運営の評価につきまして、地域教育推進計画の中の基本指標を、市民の無作為抽出による市民意識調査にて評価をしております。総合的に地域教育がどのようになっているかの評価をしております。</p> <p>また、色々な角度からの評価というご意見は、昨年度の審議会の中でもいただき、昨年度あたりから各生涯学習センターにおいて、事業ごとの受講者へのアンケートにより、受講した満足度もとるように努めておりますので、今後の評価の中ではそういう部分もご提示できるようにしていきたいと事務局では考えております。</p>
今井委員	<p>昨年度、大人の教養講座を4回講座で行い、その時にアンケートをとりましたが大変好評でした。先ほど事務局からお話があったとおり、事業ごとのアンケートでの評価もしていくと、良いのではないかと思います。しかし、こういった講座が生涯学習としてやっているのか、どこの部門がやっているのかわからない、生涯学習センターがあること自体ほとんどの方がわからないということもありますので、うまくPRしてわからせてもらおうと良いと思います。</p>
金田委員	<p>色々議論を聞いておまして、生涯学習センターは併任でしょうから、仕事が2つあるわけです。生涯学習だけでなく一般の仕事もある中で、本当に充実させたいと思うと併任では限界があると思います。生涯学習に関わってきていない人は面喰ってしまうこともあると思いますので、そのようなことも含めて、これからの検討課題にしていなければならないということで、お願いしたいと思います。</p>
丸山委員長	<p>大変具体的なお指摘ありがとうございます。時間も押しておりますので、議事の(3)の方へ移らせていただければよろしいでしょうか。</p> <p>では、議事の(3)「(仮称)第3次宇都宮市地域教育推進計画」の骨子(案)について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【資料について説明】</p>
丸山委員長	<p>非常に包括的な、全体の地域教育推進計画であり、基本的にはそれほど変わっていないとのことですが、若干強調するところが変わっており、それは昨年度までの議論や市民意識調査の結果なども踏まえているのですが、委員の皆様、ご意見・ご質問をお願いします。</p>
生田委員	<p>基本理念は良いと思うのですが、基本目標1を変えなかったという説明について、第2次の基本指標でパーセンテージが落ちているにも関わらず、基本目標1を変えなかったという理由は、施策事業の方で大幅な改善をするため目標は変えないということなのか、ご説明をお願いします。</p>

事務局	<p>ご質問ありがとうございます。基本目標1につきましては、市民が主体的に学習活動に取り組んでいくという個人の基盤となる部分であり、目標とする姿としては同じところを引き続き目指していきたいと考えております。生田委員からご指摘ありましたとおり、施策や事業のところ、例えば様々な困難を有する人への学習提供や、ICT社会に対応した学習提供など、これまでよりも幅広く、市民の方への学習を提供できるよう対応していきたいと考えております。</p>
西田委員	<p>資料別紙の今後の地域教育推進の課題の3市民の学習成果を様々な活動につなげる支援が必要というところで、学んだ成果を生かして活動につなげるということが書かれているのですが、具体的にはどのようなことをイメージしているのか教えてください。</p>
事務局	<p>まだ具体的な事業が決まっていない中ではありますが、例えば人材バンクをすでにシステムとしてもっております。しかし、人材バンクに登録してある情報と市民ニーズの不一致が生じるなどしているものですから、内容の見直しなども含めまして、これから様々な場面で、ご意見をいただきながら、つなげるというところを充実させていければと思っております。</p>
西田委員	<p>先ほど今井委員の方から、大人の教養講座が非常に面白いという意見をいただき、地域の歴史や伝統文化などを学ぶ内容ということで、作新学院大学の方では、とちぎ学というやはり地域を学んでいく講座があります。この講座は、「地域の絆は歴史と情報の共有から始まる」というようなコンセプトでやっております。おそらく、歴史を学ぶということは人がつながるということですので、大人の教養講座が面白かったというのも、学びを通して人がつながったのかなということをすごく感じました。大学で地域学をやるときには、市民の方にも講師で来ていただいたりしておりますが、大学も今、学ぶ場としてだけではなく、市民の方が若者に対して教える場としても開放している部分がありますので、今後こういった大学組織とも連携しながら学んだ方のアウトプットする場を作り出せて行けたらいいなと感じたものですから、発言させていただきました。</p>
丸山委員長	<p>他に何かございますか。</p>
今井委員	<p>別紙2の右側の基本目標の2について、学校・家庭・地域が相互に連携・協力して地域全体で子どもたちをとというのが、生涯学習とつながっているということを初めてわかりました。我々は地域の学校地域協議会という中で、子どもたちのためにどのように連携するかとやっているんですけども、市民センターの所長や副所長が出てくれる程度であって、あまりまちづくりとの連携は学校はないように思います。しかし、資料左側の第2次の評価をみると、放課後子ども教室のことも書いてあり、これには学校地域協議会も関わっているものですから、生涯学習とつながっ</p>

ているのかな、あるいはつなげた方がいいのかなと思ったところです。これらは生涯学習とつながるものと考えてよいのでしょうか。

事務局

放課後子ども教室に関しましては、宮っ子ステーション運営委員会の方で様々なプログラムを提供していただいております、そのプログラムの担い手に地域の方がなっていたり、外部講師を呼んだりというようなことがございます。基本目標1にある主体的な学習活動を行った人が、担い手や講師となっていただくことが地域教育として目指しているところであると考えております。

生涯学習の概念的なところでは、資料5の参考1の3ページ目をご覧ください。3ページ目の下に図が出ておりますが、生涯学習という概念は、人の一生の間の学習活動全てなので、テレビで学ぶことも学校で勉強することも全て含んだ一番大きな概念となります。放課後子ども教室などにつきましては、その中の社会教育という範囲に入ってきます。学校教育、家庭教育とは別の社会を舞台として住民の相互学習により行われている学習活動、教育活動ですので、社会教育の範囲で行われている事業となります。そのため、放課後子ども教室などの事業と生涯学習というものは、関連性があるものになります。

丸山委員長

ありがとうございます。多様な論点がございましたが、次の議事へ移らせていただきたいと思います。

では、報告の(1)「平成29年度生涯学習センター事業運営の考え方について」の骨子(案)について、事務局より説明をお願いします。

事務局

【報告(1)「平成29年度生涯学習センター事業運営の考え方について」説明後、出席のセンター所長より平成29年度の特色ある事業について説明】

丸山委員長

ありがとうございました。ご質問ありましたらお願いいたします。

坂本委員

事務局の方にお伺いしたいのですが、宇都宮市第5次総合計画が今年度までとなっており、今度、6次計画になるわけだと思うのですが、その中の色々な事業でさらに計画が立てられていますよね。例えば子ども未来課については、宮っ子の計画とかありますが、今日の資料の中の計画との整合性というのはどうなのでしょう。それと、生涯学習運営の市の予算について、例えば成人式の予算だとか、生涯学習の予算についてわかる範囲で結構ですからご説明をお願いできればと思います。

事務局

宇都宮市総合計画は10年計画になっておりますが、地域教育推進計画につきましても個別計画として、第5次総合計画に位置付けられております。教育委員会といたしましては、個別計画として学校教育推進計画、地域教育推進計画の2本が大きな計画となっております。今まで地域教育推進計画については5年間という計画期間でありましたが、総合計画が10年、学校教育の計画も10年という期間で、教育については、なかなかその成果が見えにくいということもございますので、第

3次宇都宮市地域教育推進計画では10年計画とし、中間期の5年で見直しを図るというように考えております。

また、生涯学習関連の事業の予算につきましては、できるだけ効果・効率的に執行するというご意見ですが、成人式などの生涯学習事業につきましては、ほぼ横ばいの状態で予算は確保している状況でございます。

坂本委員

宇都宮市の地域まちづくり推進協議会の委員会があったのですが、29年度のテーマは、まちづくり宮っ子育ち子育て応援します、というようなテーマでこれから事業に入るわけです。教育委員会での宮っ子も同じなので、そういうまちづくり課との連携などもぜひとっていただき、同じような内容が出てきて重複してしまわないように、各課なり事業所との連携をうまくとっていただき、進めていただきたいという風に思っております。

丸山委員長

ありがとうございました。では、時間も押していますので、あと1つご意見などあれば伺います。

小林委員

前回の会議で、県民の歌は歌えるけど、宇都宮の歌は歌えないという意見がありました。宇都宮市民でも宇都宮の歌が歌えない人はかなりいると思います。これから市民の方が歌えるようになるにはどうしたらよいかというのをお聞きしたいです。

事務局

小中学校といった学校教育の現場で、宇都宮の歌の指導を実際に行っているところでございます。今年度の成人式では、学校教育で宇都宮の歌を学んだ子たちが成人しますので、これまで以上に歌えるのではないかと期待しているところでございます。

生田委員

教育委員会では校長会議というのがございまして、その会議において、学校で宇都宮の歌の啓発を十分やるようにとあり、学校で必ず宇都宮の歌を歌うように進めておりますが、歌う場面はいくつか選択肢があります。例えば音楽の授業や、児童会など、いずれにしても学校の実情に応じて、宇都宮の歌を歌えるようにしていくということで、教育長の方からも方針が出ましたので、学校では取り組んでおります。

丸山委員長

ありがとうございました。それではこの報告(1)は以上としたいと思います。以上をもちまして、本日、予定しました議事はすべて終了いたしました。最後に、竹内副委員長にご意見いただきたいと思っております。

竹内委員

資料のことなのですが、事前に渡されたのは非常にありがたいと思っております。詳しい資料ですが、いかんせんこれを理解できるかといったら非常に難しい点があるのではないかと思います。普段、生涯学習に携わっていない我々でもわかり

やさいような文章に工夫していただけるとありがたいなと思います。次の審議会の中では来年度の事業方針を具体的に検討されると思うのですが、委員のみなさんがああしてほしいこうしてほしいという具体的な意見が出やすいよう資料の方を工夫していただけるといいなと思いました。

丸山委員長

ありがとうございました。委員の皆さまには、本日は大変活発な議論をしていただきましてありがとうございました。それでは、進行を事務局に戻します。

事務局

ありがとうございました。続きまして次第の8その他ですが、事務局から連絡事項がございます。

事務局

【次回の会議日程について説明】

事務局

本日は、委員長を始め委員の皆様、長時間にわたるご審議誠にありがとうございました。以上をもちまして、平成29年度第1回宇都宮市生涯学習センター運営審議会を閉会いたします。大変ありがとうございました。